

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** 京都府議会議員

発行：2025年5月18日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



いますぐ消費税5%減税で12万円の暮らし応援を 7月参院選の争点に急浮上!!

日本共産党は長引く異常な物価高騰から国民の皆さんの暮らしを応援する一番効果があるのが消費税の減税だと考えます。これまで「消費税は社会保障の財源」と言われて、増税されてきましたが、社会保障はよくなるどころか削減ばかりでした。一方で法人税は減税されてきました。その額は消費税の増税分とほぼ同じくらいになっています。内部留保を増やし続けている大企業の法人税を減税すれば財源はあります。

暮らしを応援するために、消費税をまず5%にして、その先は0%にすることを、財源を示して共産党は提案しています。税金の使い方の問題です。7月の参議院選



挙では、暮らし応援に税金を使う日本共産党を大きくして下さい。安心して暮らせる政治をつくりましょう！

議会

レポート

「トランプ関税」対策についての緊急申し入れ 共産党市会議員団

共産党市会議員団は4月25日、市民の暮らし、雇用、営業を守り、地域経済や下請け企業への影響を食い止める対策が急務となっている「トランプ関税」対策について、緊急に申し入れを行いました。主な内容は



▶「市として「トランプ関税」対策本部を設置し、庁内の関係部局に加えて経済団体や中小企業団体に参加を要請すること。」▶「政府に対して次の事項を要請すること。「ゼロゼロ融資」の再開、「セーフティネット保証」など経営が悪化する中小企業融資の抜本拡大、雇用を守る緊急給付金の支給などを行う。」▶「トランプ関税」撤回を米国に求めるとともに、国際社会と連携し、経済主権・食糧主権を尊重する新たな貿易ルール構築を進める。」等です。

病床削減予定5万床に 政府誘導で医療体制 衰退を告発 倉林明子参議院議員

倉林明子参議院議員は、「自民公明の医療費削減政策の下で、多くの病院が赤字に陥っている。このままでは地域の病院が無くなる」「民間調査機関が来年度1,000件の病院が倒産する予想をしている」と国会で質問しました。「病床を1つ減らせば420万円の補助金を出す」という政策で、赤字で苦しむ病院が仕方なくベッドを削減せざるを得ない状況に迫っています。自公政治は全国で5万床の削減計画です。これでは、入院したくても入院ができなくなります。その上さらに維新の会は5兆円の医療費削減を政府に認めさせています。これでは命が守れません。どうしても国会に倉林明子参議院議員が必要です。



正すべきは沖縄戦史捏造 西田参議院議員暴言 共産党京都府委員会声明

自民党の西田参議院議員が、沖縄戦で犠牲になった女学生たちの慰霊碑「ひめゆりの塔」の展示を「歴史を書き換えている」と発言したことについて、謝罪と撤回をしましたが、自分の歴史観については、間違いを認めていません。ひめゆり平和祈念資料館の館長は「体験者が血のにじむような思いで残してきた記録だ」「残念だし、納得がいかない」と述べておられます。5月10日に日本共産党京都府委員会が「正すべきは沖縄戦の史実捏造（ねつぞう）と自民党・公明党の姿勢」との声明を発表。渡辺委員長は「現在、敵基地攻撃のための長距離ミサイル配備や辺野古の新基地建設などが沖縄県民の民意を踏みにじって強行されようとしている。かつて沖縄を本土決戦の『捨て石』としたのと同様の事態」、西田氏の不誠実な「撤回」等で済ませるなら「自民党・公明党も同罪だ」と批判しました。

